

2018 年 12 月 25 日
電源開発株式会社

米国・ウェストモアランド火力発電所の営業運転開始について
～米国で 11 件目のプロジェクト～



電源開発株式会社（以下、Jパワー、本社：東京都中央区、社長：渡部肇史）が参画しているテナスカ・ウェストモアランド発電所（米国ペンシルバニア州ウェストモアランド郡、92.5 万キロワット、コンバインドサイクルガスタービン発電所）が、本年 12 月 21 日に営業運転を開始しましたのでお知らせいたします。

Jパワーは 2017 年 1 月に現地法人（J-POWER USA Investment Co., Ltd.）を通じて、米国の独立系大手エネルギーグループである Tenaska, Inc. の関係会社（以下「テナスカ社」）から、本プロジェクトの権益 25% を取得しました。その後、順調に建設を進め、今回の営業運転開始により PJM 市場^{*}に電力供給する予定です。

テナスカ・ウェストモアランド発電所は、Jパワーの北米投資として 11 件目のプロジェクトであり、米国最大の電力自由化市場である PJM 内においては 4 件目となります。今回

の営業運転開始により、Jパワーの米国における持分出力は約 200 万キロワットとなりました。

Jパワーは、2015年に発表した中期経営計画に基づき、自由化の先進市場であり、豊富な事業機会が見込める米国において、多様な販売形態を取り入れながら業容拡大を図るとともに、2025年度の海外持分出力 1,000 万キロワットの実現を目指して、海外発電事業を推進して参ります。

※米国東部地域における独立系統運用機関（Independent System Operator）で、北米最大の卸電力市場の運営、電力システムの運用を行っている。

運営地域はその名の通りペンシルバニア・ニュージャージー・メリーランドから始まり、現在はデラウェア・イリノイ・インディアナ・ケンタッキー・ミシガン・ノースカロライナ・オハイオ・テネシー・バージニア・ウェストバージニア・ワシントン DC も含んでいる。

<添付資料>

1. ウェストモアランド発電所の概要
2. Jパワーの海外 IPP プロジェクト一覧